

「サイバーインシデント演習 in 四国」を開催

- 四国総合通信局は、サイバーセキュリティシンポジウム道後（SEC道後）実行委員会（実行委員長：小林 真也（こばやし しんや）愛媛大学大学院教授）との共催により、令和4年2月9日（水）に地域向けの「サイバーインシデント演習」を開催しました。
- 本演習では、ランサムウェア等による高度化・巧妙化したサイバー攻撃に迅速かつ適切に対応するため、講義及びグループワークによる演習を通じてインシデント対応を学びました。

開催概要

- 1 日時 令和4年2月9日(水) 14時00分～17時00分
- 2 開催形式 オンライン開催（Zoom利用）
- 3 対象者 中小企業・団体等の経営層、セキュリティ責任者及び日頃よりサイバーセキュリティを中心に対応されている運用担当者の方など
- 4 参加者数 26名（主な所属：放送・CATV・電気通信事業者、医療機関、一般企業、地方自治体など）

プログラム

第1部 講演（約30分）

「事業経営の観点からみるサイバーセキュリティリスクの特定と対応戦略」

講師：大野 博堂（おおの はくどう）氏

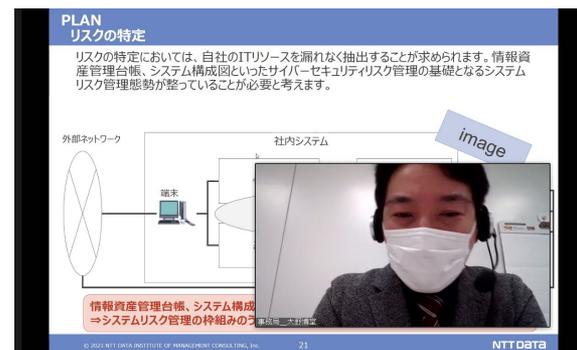
東京工業大学サイバーセキュリティ経営戦略コース講師

株式会社NTTデータ経営研究所 パートナー

第2部 インシデント演習（約2時間30分）

従業員150名（うちシステム部門8名）の企業を想定し、サイバー攻撃によりインシデントが発生した際の一連の対応をグループワークにより討議・発表

（演習シナリオ：「端末のランサムウェア感染による情報漏洩」）



講演の様子（大野講師）



グループワークでのディスカッションの様子

事後アンケートでは、参加者全員から「今後もこのような機会があれば参加したい」との回答（選択式）をいただきました。四国総合通信局は、今後もインシデント演習やセミナー開催等の取り組みを通じて地域セキュリティ・コミュニティ（地域SECURITY）の形成を促進していきます。

（お問い合わせ先） 情報通信部 電気通信事業課 089-936-5042